

令和7年度 学校評価年度末自己評価書

【評価基準】 A：目標を達成 B：8割以上達成 C：6割以上達成 D：6割未満

愛南町立緑小学校

※末尾についでいる番号は、アンケート用紙中の質問番号です。↓

重点目標	評価項目 目標値(期待される結果)	評価	考察 ◆改善方策	評価資料	調査年度	調査対象	アンケート結果(%)				
確かな学力の定着と向上(しっかりと勉強)	①児童は、授業の内容がよく分かっているか。 目標値：児童と教職員の肯定率の平均が90%以上	A	◇児童の肯定率は100%であり、ほとんどの児童が授業に満足し、自分は学習内容を理解していると感じている。単元テストの結果も、中間期よりもどちらも上がっており、改善傾向にあると思われる。また、教職員も肯定率100%であり、学習内容の定着に向けて授業作りに取り組んでいると考えられる。 ◆肯定率が100%であっても、学習内容の定着にはまだ課題が残る。児童が自分の学習についてしっかりと振り返り、できていること、できていないことを自覚し、主体的に学習に向かえるような授業づくりを工夫していく必要がある。	年度末	児童1	A	100	46	54	0	0
				教職員1	A	100	83	17	0	0	
				中間期	児童1	A	100	69	31	0	0
				教職員1	A	100	57	43	0	0	
				100.0	← 総合						
				国語、算数の単元テスト平均	国語	算数					
				中間期			84.8	84.9			
				年度末			87.1	86.8			
	②ICTを効果的に使って学習をしているか。 目標値：児童と教職員の肯定率の平均が90%以上	A	◇児童・教職員ともに肯定率は100%である。特に、児童の「コンピュータを1日に2回以上使っているか」という項目は、中間期より大きく上がっている。児童はICTを使った学習に慣れ、効果的に活用していることが分かる。また、教職員も、ICTの活用を工夫して授業をしていることがうかがわれる。 ◆ICTの便利なツールや活用方法は、変化している。教職員は、研修を重ね、更に効果的に活用できるよう、工夫していく必要がある。	年度末	児童3	A	100	69	31	0	0
				教職員3	A	100	92	8	0	0	
				中間期	児童2	A	100	67	33	0	0
				教職員2	A	100	69	31	0	0	
				100.0	← 総合						
				中間期	児童3	A	100	31	69	0	0
				教職員1-2	A	100	71	29	0	0	
	③児童は、家庭学習の習慣が身に付いているか。 低：1日30分以上 中：1日45分以上 高：1日60分以上 目標値：児童・教職員・保護者の肯定率の平均が90%以上	B	◇児童・保護者ともに目標時間に達していないと感じている割合が増えている。宿題だけでは目標時間に達することができず、その他の主体的な学習に取り組むこともできていないからだと考えられる。 ◆まずは、宿題に丁寧に取り組む、見直す習慣を身に付けさせる。また、家庭での主体的な学習方法について指導し、予習の仕方、テスト前の復習の仕方、ICTを用いた学習などに主体的に取り組むことができる児童を育てることが必要である。	年度末	児童4	B	85	47	38	15	0
				教職員4	A	100	67	33	0	0	
				保護者7	B	85	47	38	15	0	
				中間期	児童4	A	92	54	38	8	0
				100.0	← 総合						
				中間期	教職員4	A	100	43	57	0	0
				保護者7	B	84	31	53	8	8	
	④児童は、読書の習慣が身に付いているか。 低：月8冊以上 中：月6冊以上 高：月4冊以上 目標値：多読賞達成率、児童や教職員の肯定率の平均が90%以上	A	◇毎朝10分間の読書時間を確保したり、月に2回の読み聞かせに取り組んだりしているが、中間期同様に読書に親しんでいると感じていない児童がいる。活字を読むことに苦意識を持っているためではないかと考えられる。 ◆2学期は読書集会を行ったり、積極的に本の紹介を行ったりして、本に出会う機会を設定した。今後も引き続き、本に親しめる手立てを続けていく必要がある。また、国語での並行読書にも積極的に取り組み、本に親しむことができるようにする。	年度末	児童5	B	85	54	31	15	0
				教職員5	A	100	33	67	0	0	
				中間期	児童5	B	84	69	15	15	0
				教職員5	A	100	43	57	0	0	
				92.7	← 総合						
				(多読賞達成率)左の各学年の目標冊数をクリアした児童の割合。読書の買出冊数と「みきゃん読帳」に記録している冊数から調査した。							

※回収分のみとなっております。また、教職員の項目には、職種により回答できないものがあります。

アンケート結果(人)					学校アンケート内容	
4	3	2	1			
6	7	0	0	授業はよく分かりますか。		
5	1	0	0	1人1台端末の活用、協働的な学び、予習と授業との運動などが行えていますか。		

9	4	0	0	コンピュータを使った学習は楽しいですか。		
12	1	0	0	コンピュータを1日に2回以上使っていますか。		
4	2	0	0	1人1台端末の効果的な活用をしているか。		

6	5	2	0	毎日、家(+緑子ども塾・学習塾)で目標学習時間(30・45・60分間)勉強をしていますか。		
4	2	0	0	子ども達は、低・中・高学年に応じた目標学習時間(30・45・60分間)、学習に取り組んでいるか。		
6	5	2	0	お子様は、低・中・高学年に応じた目標学習時間(30・45・60分間)、学習に取り組んでいますか。		

7	4	2	0	学校や家の本をたくさん読み、読書に親しんでいますか。		
2	4	0	0	(図書館利用の促進、みかん読帳の活用、読み聞かせ、読書集会など)により、子ども達は読書習慣が身に付いていると思うか。		

自由意見	<p>★音楽発表会をがんばった。★タイピングが速くなった。 ○高学年としてみんなをまとめる場面が多くなり、しっかりしてきたように思います。理科の実験や英語等、少人数でじっくり指導していただきありがたいです。 ●読み聞かせをしていると、4月からどんどん育ってきているのがわかります。しゃべれなかった子どもがどんどん話せるようになっていきます。 ●緑子ども塾で、宿題のわからない部分は積極的に質問している。 ・学習に向かう意欲を持つ児童がもう少し増えればと思います。 ・学習や話を聞く等、苦手なことをがんばり切ることが難しいです。特に朝、ぼうつとして集中力が続かない児童が多いと感じます。 ・聞く力が弱いと感じる場面が多かったです。</p>	<p>★児童 ○保護者 ●地域 ・教職員</p>
学校運営協議会	<p>①中間期より「よく分かる」が減っているが、テストの平均が上がっているのが良いと思う。 ②子どもは、ICTを使った授業が楽しいと感じている。教職員も工夫して使っていることが分かる。 ③緑塾でしっかり宿題をしている。低学年は終わった後、読書をしている。高学年は時間がかかっている。予習もしている。家に帰って宿題以外のことをしている子が少ない。何をどのようにすればよいか教える必要がある。保護者にも学習の様子を見て、子どもの様子を理解してほしい。 ④読書によって、学力は上がっていくと思う。読書量は個によって差がある。取組を継続して習慣化させるのがよい。</p>	<p>①テストの点数が上がっていることはよかった。しかし、それだけでなく、話す・聞く力を身に付けたり、意欲をもって主体的に学習に取り組んだりして自ら学習していく力も身に付けられるようにしたい。 ②ICTの活用は、児童も教職員も慣れつつある。今後はデジタルとアナログのバランスを考えるなど、更に効果的な活用の仕方を研究していきたい。 ③宿題についてはきちんとできている。自主的な学習についても例を示すなど、進んでできるよう工夫していきたい。 ④引き続き、読書に親しむことができるよう、工夫していきたい。それに加えて、読書する時間を設定するなど、習慣化できるようにしたい。</p>

※末尾についでいる番号は、アンケート用紙中の質問番号です。↓

重点目標	○番号：評価項目 目録値（期待される結果）	評価	◇ 考察 ◆ 改善策	評価資料	調査時期	年度末	アンケート結果(%)
							4 3 2 1
豊かな心を育てる教育の推進	⑤ 児童は、楽しく学校生活を送っているか。 目録値：児童・保護者の100%が肯定	B	◇総合の肯定率は94.8%と良好だが、保護者の肯定率が下がっている。1学期に引き続き、昼休みに楽しく過ごす姿が多く見られただけでなく、2学期は行事が多く、一人一人に活躍の場があり、充実した学校生活になったのではないかと考えられる。 ◆今年度は、スクールカウンセラーの教育相談を1人2回行い、相談体制の充実を図った。引き続き、生活アンケート、教育相談を丁寧に行う。また、教職員全員で日々の児童の様子をしっかりと見取り、抱えている問題については迅速に対応していく必要がある。	年度末 保護者1 A 100 85 15 0 0 地域民 B 92 77 15 8 0 中間期 保護者6 A 100 85 15 0 0 保護者7 A 100 69 31 0 0 94.8 - 割合			
	⑥ 児童は、気持ちのよい挨拶ができていますか。 目録値：児童・保護者・地域・教職員の肯定率の平均が90%以上	A	◇総合の肯定率は93.3%とA判定となっている。また、中間期にO判定だった保護者がA判定に上昇している。しかし、地域住民ではB判定に下降しており、「どこでも、誰にでも」気持ちのよいあいさつができるとはいえないと思われる。 ◆引き続き、すべての教育活動の中で、返事や挨拶についての意義を理解し、生活の中で主体的に実践していく意欲を高める指導を続けていく。	年度末 保護者2 A 92 69 23 8 0 保護者3 A 92 54 38 8 0 地域民 B 89 78 11 11 0 中間期 保護者4 A 100 67 33 0 0 保護者5 A 92 69 23 8 0 保護者2 C 69 31 38 31 0 地域民1 A 100 70 30 0 0 教職員6 A 100 43 57 0 0 93.3 - 割合			
	⑦ 教職員が児童を深く理解しているか。 目録値：教職員、保護者の肯定率の平均が90%以上	A	◇総合の肯定率は92.5%となっているが、保護者「学校は、児童について深く理解しようとしている」との項目が下降している。 ◆授業中だけでなく休み時間等の学校生活の中で、子どもたちの様子をしっかり見つめる必要がある。アンケートや教育相談等、児童が相談しやすい環境作りにも努める。	年度末 保護者10 B 85 62 23 15 0 教職員7 A 100 83 17 0 0 教職員8 A 100 50 50 0 0 教職員9 B 83 83 0 17 0 中間期 保護者10 A 100 69 31 0 0 教職員4 A 100 100 0 0 0 教職員5 A 100 43 57 0 0 92.5 - 割合			
	⑧ 道徳科を中心に教育活動を通じて児童の人権に関する考えを深めたり広げたりしているか。 目録値：児童と教職員の肯定率の平均が90%以上	A	◇中間期同様、児童・教職員とも肯定率は100%であった。発問や授業展開を工夫することで、児童は意欲的に発言し、友達と考えから多様な感じ方・考え方を感ずることができたと考えられる。 ◆子どもたちが、議論し合い、考えを更に深めることができる授業ができるよう、研修を重ねていきたい。	年度末 保護者8 A 100 31 69 0 0 教職員 A 100 50 50 0 0 中間期 保護者9 A 100 46 54 0 0 教職員5 A 100 43 57 0 0 100.0 - 割合			
	⑨ 児童は、人を大切にすることを育てているか。 目録値：児童・保護者・地域の肯定率の平均が90%以上	A	◇児童、保護者ともに肯定率が100%であった。全校遊びを行ったり、行事に協力して取り組んだりすることで、お互いを思いやる態度が育てられていると思われる。また、全教職員が共通意識をもって全校児童の様子を見守ることが、児童の心を育てていると考えられる。 ◆今後も、続けて人を大切にすることを育つよう取り組んでいきたい。	年度末 保護者6 A 100 54 46 0 0 保護者8 A 100 62 38 0 0 地域民 A 100 33 67 0 0 中間期 保護者7 A 92 77 15 8 0 保護者8 A 92 46 46 8 0 地域民1 A 100 56 44 0 0 100.0 - 割合			
	⑩ 主体的な行動やたくましさが増えてきているか。 目録値：児童・教職員の肯定率の平均が90%以上	A	◇児童、教職員ともに肯定率が100%になった。中間期で2を付けた児童も、すべて肯定できるようになった。2学期は行事も多く、苦手なことや主体的に動く場面がたくさんあった中で、児童が頑張っていることがよく分かる。 ◆教職員が指示や指導をするばかりでなく、児童が自分で考え、主体的に行動できる機会を増やしていきたい。その中で失敗してもくじけず、前を向って進んでいけるたくましさを与えたい。	年度末 保護者10 A 100 31 69 0 0 教職員7 A 100 67 33 0 0 教職員11 A 100 54 46 0 0 中間期 保護者10 B 85 31 54 15 0 教職員7 A 100 100 0 0 0 保護者11 A 93 62 31 8 0 100.0 - 割合			
	⑪ 個々の児童の特性や困難さに応じて指導しているか。 目録値：教職員、保護者の肯定率の平均が90%以上	A	◇総合の肯定率は96.3%と良好であった。研修会で毎月「児童を見つめる会」での情報共有、支援についての確認が継続してできたことが、適切な支援につながったのではないかと考える。 ◆今後も、子ども一人一人の特性や困難さの共通理解を教職員で図り、個に応じた支援を継続していきたい。また、家庭との連携・確認を密にしたい。	年度末 保護者11 A 85 62 23 15 0 教職員8 A 100 100 0 0 0 中間期 保護者11 A 100 69 31 0 0 教職員9 A 100 57 43 0 0 96.3 - 割合			

※回収分のみとなっております。また、教職員の項目には、職種により回答できないものがあります。

アンケート結果 (人)					学校アンケート内容	
4	3	2	1	0	回答	
11	2	0	0	0	学校は楽しいですか。	
10	2	1	0	0	お子さんは、楽しく学校生活を送っていると思いますか。	
9	3	1	0	0	相手が笑顔になるような気持ちのよい挨拶や返事ができましたか。	
7	5	1	0	0	お子さんは、気持ちのよい挨拶や返事ができていますか。	
7	1	1	0	0	児童は地域の人たちに気持ちのよい挨拶や返事ができていると思いますか。	
4	2	0	0	0	児童は、明るい挨拶や返事をしているか。	
8	3	2	0	0	学校は、児童について深く理解しようとしていると思いますか。	
5	1	0	0	0	あつたか言葉の推測や読み取ったS/P/Aの意図の裏読みをしていますか。また、いじめを多面的・多角的に理解し認知しようとしたか。	
3	3	0	0	0	感謝の言葉の大切さを伝えるとともに、緑つ子レターなどで自分を認める機会をしっかりとてたか。	
5	0	1	0	0	児童・生徒と向き合う時間が十分確保できていると思うか。	
4	9	0	0	0	道徳の授業で、いろいろな感じ方や考え方で話し合いましたか。	
3	3	0	0	0	道徳科を中心に多様な感じ方・考え方・価値観の尊重、対話的な学びづくりなど議論する活動に努めているか。	
7	6	0	0	0	あつたか言葉を使って、友達と仲良くしていますか。	
8	5	0	0	0	お子さんは、人を大切にすることを育てていると思いますか。	
3	6	0	0	0	児童は、人を大切にすることを育てていると思いますか。	
4	9	0	0	0	自分で考え、自分で決めて、自分から進んで行動していますか。	
4	2	0	0	0	主体的な行動選択ができる工夫や児童の言動を褒める教育に努めたか。	
7	6	0	0	0	難しいことやしんどいことも、あきらめずにがんばることができましたか。	
8	3	2	0	0	学校は、お子さんの特性や困難さに寄り添った指導をしていると思いますか。	
6	0	0	0	0	特性の理解、困り感の解消方法の提示など、合理的配慮の提供をしているか。	

自由意見

★2学期は大きな行事がたくさんあったので、みんなと意見を出しながら仲良く過ごすことができたのでみんなとの接し方をがんばった。  
○毎日楽しく学校に行ってくれるので、嬉しく思います。これからもよろしくお願いします。  
○マイペースな子なので、大変な面が多々あるかと思いますが、上手にサポートしていただいてあげたいと思います。これからもよろしくお願いします。  
○学校のトイレが、電気を付けても薄暗くて怖いようです。虫もよく出るようで、トイレに行くのを我慢することもあるみたいです。  
○個々の人に合わせた指導をしていただいていると思います。小規模校のメリットを感じています。(学習の理解度など)  
●男の子たちが休日等、自転車であちこち行っています。異学年交流は小規模校ならではの光景です。元気がたくましくなってきたように思います。  
●緑こども塾の入室時のあいさつが元氣よくできています。  
●ほとんどの子は気持ちのよいあいさつができますが、中には乱暴な口調のあいさつをする子も見られます。(緑塾の入室時)  
●毎朝校長先生が先生方の代表として通学路に立って挨拶をしてくださっています。とても有難い事です。桜屋の子ども達も大きな声で挨拶をしています。挨拶は心をつなぐ第一歩だと私は思っています。大人になってこの心をつなぐ挨拶を忘れてはいけないと思います。  
・教職員全員で助け合いながら、児童のために動くことができた。  
・運動会、音楽発表会、学習発表会と、児童が一生懸命に取り組む姿を見ることができた。  
・多くの行事で、一人ひとりが活躍できる環境づくりができた。運動会の一輪車、音楽発表会の家庭での練習など、保護者の協力も多く得ることができ、そのおかげで児童が力を発揮できることが多かった。  
・いろいろな行事への取組を通して、児童の自主性や目標に向かって頑張ろうとする力が伸びたと感じています。先生方の協働性の高さが、児童へよい影響を与えていました。  
・自転車の乗り方、ろう下の歩き方等、きまりがしっかりと守れるようになってほしい。  
・行事ごとに苦手なこともあきらめず頑張っている。  
・自主性、率先した行動がもっと出てくるとよい。

★児童  
○保護者  
●地域  
・教職員

学校運営協議会	⑤ 昼休みの様子を見ると、とても楽しそうに遊んでいる。評価の低い保護者に対しては、懇談会等を活用して寄り添った対応が必要。不信感が広まらないようにしたい。 ⑥～⑪については、特に問題はない。 ※小規模校の特色をもっと出してよいのではないかと。個別の指導を充実させることも大切。学習支援員の関わり方、時間の確保でも工夫できるのではないかと。	学校対応	⑤ 児童については、学校評価だけでなく、毎月の学校生活アンケートや教育相談、教職員での「児童を見つめる会」で不安なことや心配なことを早期発見、早期解決できるようにしている。現時点では、特に心配な事項はない。不登校もなく、みんな元気に学校で過ごすことができていると感じている。 保護者については、懇談会等で不安や困ったことなど聞きながら寄り添った対応をしていく。 ※小規模校の特色を生かした個に対応したきめ細かな教育を今後もしていきたい。ただし、中学校に進学し、多人数学級になったときのギャップに困らないようにしていくことも大切にしたい。
---------	---	------	--

※末尾についている番号は、アンケート用紙中の質問番号です。↓

重点目標	○番号：評価項目 目標値（期待される結果）	評価	◇ 考察 ◆ 改善方策	アンケート結果 (%)						
				年度末	中間期	児童14	児童12	児童10		
⑫児童は、運動に親しんでいるか。 目標値：児童・教職員の肯定率の平均が90%以上	A	◇中間期と同様、児童、教職員ともに肯定率が100%になった。2学期は、運動会での一輪車や放課後の陸上練習、えひめITスタジアムの8の字ジャンプ等、たくさんの運動にチャレンジして、できることの楽しさやみんなで協力して達成する喜びを味わうことができたのではないと思う。 ◆今後も、体育の時間を中心に様々な運動に触れる機会をつくりたい。その中で、「できると楽しい。」とか「できるようになりたい。」という思いをもち、進んで運動することができる児童を育てたい。	年度末	児童14	A	100	85	15	0	0
			中間期	児童14	A	100	100	0	0	0
			教職員10	A	100	100	0	0	0	
⑬児童は「早寝・早起き」の習慣が身に付いているか。 目標値：児童・保護者の肯定率の平均が90%以上	B	◇ 中間期と比べ、アンケートでは、児童・保護者ともに肯定率が高くなっている。しかし、毎日の健康観察では、22時以降に就寝している児童の割合は中間期より増えている。2学期には、児童への保健指導や保護者を対象にして、学校医から教わる学校保健委員会を行った。すると、学校保健委員会開催前19.6%だった22時以降の就寝率が14.5%と減少した。少しずつ改善はできていると思われる。 ◆引き続き、児童への指導や保護者への啓発を行っていく。特に、「早寝ができない。」という児童が多いことから、寝付きをよくするための方法について様々な情報を提供し、改善できるように努めていきたい。	年度末	児童12	A	100	38	62	0	0
			中間期	児童12	C	69	46	23	31	0
			保護者8	C	77	15	82	8	15	
⑭児童は「朝ごはん」の習慣が身に付いているか。 目標値：児童・保護者の肯定率の平均が90%以上	B	◇アンケートでは、児童の肯定率は上がったが、保護者の肯定率は下がっている。健康観察での朝食摂取率は、中間期と比べて下がっており、また、児童に朝食の習慣が身に付いているとはいえない。引き続き、朝食の大切さについて指導していく必要がある。 ◆学校保健委員会で教わったことを基に、引き続き、朝食の重要性について指導を行う。また、2月の参観日で保健集会を実施し、親子で朝食について考える機会を設けて朝食摂取率を向上させたい。	年度末	児童13	A	92	77	15	8	0
			中間期	児童13	B	84	69	15	15	0
			保護者4	B	85	70	15	0	15	

※回収分のみとなっております。また、教職員の項目には、職種により回答できないものがあります。

アンケート結果 (人)					学校アンケート内容	
4	3	2	1			
11	2	0	0	0	0	体育の授業、放課後の運動、モーニングラン、外遊びなど、運動をがんばっていますか。
6	0	0	0	0	0	全校遊び、体力づくりえひめITスタジアムの活用などで運動の習慣を身に付ける。

5	8	0	0	0	0	早寝・早起きは できていますか。
3	9	1	0	0	0	お子さんは、早寝・早起きの習慣が身に付いていると思いますか。

10	2	1	0	0	0	朝ごはんは 食べていますか。
7	3	3	0	0	0	お子さんは、朝ごはんを食べる習慣が身に付いていると思いますか。

自由意見	★陸上練習をがんばった。★運動会で一輪車をがんばった。★モーニングランをがんばった。★体育で鉄棒や縄跳びをがんばった。★体育以外の時も運動をがんばった。 ・全校で元気に外で遊ぶ姿が多く見られた。 ・規則正しい生活習慣に関する啓発が十分にできなかった。		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     ★児童 ○保護者 ●地域 ・教職員                 </div>
	学校運営協議会	⑫運動に親しむことは、中間期も良かったが、年度末は更に良くなった。小規模校の利点で様々な運動をすることができ、達成感を感じているからであろう。 ⑬アンケートと実際の調査にずれがある。いい時もあれば、悪い時もあるということではないか。早寝ができないのは、各家庭の事情はあるかもしれないが、動画視聴やゲーム等の誘惑も多いことも考えられる。今はテレビ番組を見るのではなく、好きな時に好きなものを見られる動画配信なので、夜遅くてもいくらでも見られる。 ⑭朝食が忙しくて食べられないときには、すぐに食べられる物を準備しておくことも一つの手。固形の物を食べられないなら、ゼリー等から始めて朝食食べる習慣作りをすると良い。朝食を食べることが早起きにも繋がると良い。	

学校の対応

⑫今後も、それぞれの運動をするときに目標を持たせ、友達と協力しながら達成することの喜びを味わわせていきたい。  
 ⑬早寝をすることについては、習い事や各家庭の事情等もあり、難しいと思うが、学校からできる児童への指導や個別の声掛け、保護者への啓発は今後も粘り強く続けていきたい。  
 ⑭朝食の大切さや方法等について、2月参観日に保健集会を行う予定である。親子で考え、実践に繋がればと思う。

※末尾についでいる番号は、アンケート用紙中の質問番号です。↓

重点目標	○番号：評価項目 目標値（期待される結果）	評価	◇ 考察 ◆ 改善方策	評価資料	評価時期	アンケート結果(%)					
						4	3	2	1	1	
その他	⑮地域との交流・体験活動等は地域を愛する心を育てているか。 目標値：児童・保護者・地域・教職員の肯定率の平均が90%以上	A	◇児童、地域、教職員で肯定率が100%となった。特に2学期は、稲刈りや運動会、収穫祭や学習発表会等の行事の他、郷土料理「はがまもち作り」を婦人会に教えていただいたり、県道横にコスモス等花の種まき（苗植え）をしたりもした。引き続き登校の見守り活動や読み聞かせ、落ち葉掃き等でもお世話になっており、幅広く地域の方との交流ができた。その中で児童は、緑地域のよさをよく感じる事ができていると思う。 ◆自由記述で「児童に緑地域を愛する心が育っていると思うかどうかとなると、評価が少し難しい。」という御意見があった。児童には、地域の方との活動を楽しくできているかどうか聞いている。地域を楽しむ心や感謝する心を育てていきたい。	児童16	A	100	85	15	0	0	
				年度末	保護者8	B	85	70	15	15	0
				地域住民10	A	100	33	67	0	0	
				教職員11	A	100	100	0	0	0	
				児童15	A	100	77	23	0	0	
				保護者9	B	77	54	23	15	8	
	中間期	地域住民12	A	100	56	44	0	0			
	教職員11	A	100	100	0	0	0				
	90.3 - 割合										
	⑯研修や自己研鑽に努めているか。 目標値：教職員の肯定率の平均が90%以上	A	◇教職員のみでの評価ではあるが、肯定率は中間期と同様100%となった。業務改善をしながら、児童の充実した学校生活のために、研修を重ねている。また、情報を共有して協力体制を整え、児童の指導や支援に当たることもできている。 ◆今後も引き続き、児童の成長のために研修や自己研鑽に努めていきたい。	教職員14	A	100	50	50	0	0	
				年度末	教職員17	A	100	83	17	0	0
				中間期	教職員14	A	100	43	57	0	0
教職員15				A	100	57	43	0	0		
100.0 - 割合											
⑰学校は、ホームページや学校だより、学級通信等で情報の共有に努めているか。 目標値：保護者・地域・教職員の肯定率の平均が90%以上	A	◇中間期に引き続き、地域と教職員の肯定率が100%となった。特に、地域の評価委員全員から「4」の評価をいただき、とてもありがたいと思う。ホームページをほぼ毎日更新したり、学校だよりを毎月回覧版で全戸に回覧したりして情報を発信してきたことの成果と思われる。 ◆保護者で「2」の評価を付けた方がいた。理由の記入はなく、現段階では不明である。今後、理由が分かれば改善を検討したい。引き続き、保護者、地域との情報共有に努め、開かれた学校にしていきたい。	年度末	保護者9	B	85	62	23	15	0	
			地域住民10	A	100	100	0	0	0		
			教職員12	A	100	67	33	0	0		
			保護者8	A	100	69	31	0	0		
			地域住民12	A	100	100	0	0	0		
			教職員12	A	100	100	0	0	0		
	中間期	95.0 - 割合									
	⑱学校は、衛生的で落ち着いた場所であるか。 目標値：児童・保護者・地域・教職員の肯定率の平均が90%以上	A	◇児童・地域・教職員において肯定率100%であった。外回りの環境では、児童、教職員だけではなく、地域コーディネーターや見守り隊、グラウンドゴルフ会員の方々に落ち葉掃きを協力していただき、きれいな環境を保つことができた。また、グラウンドにおいても、スポ少やグラウンドゴルフ会員の協力により整備、維持することができている。校内については、児童、教職員が清掃時間を中心に協力して環境を整えることができた。 ◆今後も、児童や教職員でできる限りの清掃活動に取り組むとともに、保護者や地域の力をお借りして環境整備に努めていきたい。	児童16	A	100	77	23	0	0	
				年度末	保護者8	A	92	69	23	8	0
				地域住民10	A	100	100	0	0	0	
				教職員12	A	100	67	33	0	0	
				児童16	A	100	69	31	0	0	
保護者8				A	100	62	38	0	0		
中間期	地域住民10	A	100	90	10	0	0				
教職員12	A	100	71	29	0	0					
98.0 - 割合											

※回収分のみとなっております。また、教職員の項目には、職種により回答できないものがあります。

アンケート結果（人）					学校アンケート内容
4	3	2	1	1	
11	2	0	0	0	地域の方に教わったりいっしょに活動したりする学習は楽しいか。
9	2	2	0	0	お子さんは、地域の方に教わったり一緒に活動したりする学習を通して、緑地域のよさを感じていると思いますか。
3	6	0	0	0	児童は、「緑地域を愛する心」が育っていると思うか。
6	0	0	0	0	ふるさと学習、地域との交流、地域貢献など、地域を愛する心は育っているか。

3	3	0	0	0	自主研修、新しい教育への学び、読書など、研修や自己研鑽に努めたか。
5	1	0	0	0	校務支援システム等を活用することで、業務改善につながっていると思うか。

8	3	2	0	0	学校は、学級だよりやホームページによる情報の共有に努めていると思いますか。
9	0	0	0	0	学校は、ホームページや学校だよりによる情報の共有に努めていると思いますか。
4	2	0	0	0	通信やHPでの情報発信、保護者・地域住民・外来者・電話への対応など、保護者・地域住民との信頼関係づくりに努めたか。

10	3	0	0	0	学校は、きれいで、落ち着いた場所か。
9	3	1	0	0	学校は、衛生的で、落ち着いた教育環境が保たれていると思うか。
9	0	0	0	0	学校は、衛生的で、落ち着いた教育環境が保たれていると思うか。
4	2	0	0	0	衛生的で落ち着いた場所づくりができたか。

自由意見	<p>★学習発表会で大きな声を出したり、動きを出したりするのをがんばった。</p> <p>○いつも子どもたちのことをよく見てくださってありがとうございます。先生方も少人数で大変だと思いますが、精一杯子どもたちのために動いてくださっていることが、保護者にもよく伝わってきます。地域の方々より、グラウンドや学校周りの整備について色々ご指摘があるようですが、一保護者としては、そういったことよりも、いかに子どもたちを見守り、関わっているかという方を重要視しています。環境整備に関しては、子どもたちと一緒にできる範囲にとどめ、先生方、子どもたちの負担にならないことを望みます。○少人数のため、1年生から大きな舞台で音楽発表会に出ることができ、とてもよい経験になっていると思います。ご指導ありがとうございます。地域の方々との交流も多様、様々な活動ができていると思います。</p> <p>●現在、朝の落ち葉掃きらしいかしていませんが、他にも手がほしい作業等ありましたら教えてください。</p> <p>●大量の落ち葉をほうきではいたり、手で集めたり、一輪車で運んだりみんなで力を合わせて清掃している姿を見ると改めて緑の子たちのすばらしさを感じます。</p> <p>●緑こども塾の際、教室内で静かに過ごせる児童が増えたように思います。新しい先生が来た際は、まだ賑やかになってしまっていますが、静かに過ごせる。また、そう努めようとする児童が増えたことについて、とても良いことだと思います。</p> <p>●読み聞かせなど、地域住民と児童との交流活動をいろいろと設けていただき、ありがとうございます。楽しませていただいています。こういう活動は、「緑地域を愛する心」や「人を大切にできる心」の育成につながっていると感じています。けれども、児童にその心が育っていると思うかどうかとなると、評価が少し難しいです。学校としては、児童のどのような行動や態度を目標とされていますか。少し例など挙げていただくと、より評価しやすいと思います。</p> <p>・たかさんの行事があったが、どれも子ども達が意欲を持って取り組み、達成感を味わうことができていた。</p> <p>・たかさんの行事があったが、それぞれの意義を理解させながら活動に取り組むことができた。</p>	<p>★児童 ○保護者 ●地域 ・教職員</p>
------	---	--------------------------------------

学校運営協議会	<p>⑮児童は、やらされているのではなく、楽しんで進んで取り組んでいるように感じる。素直でいい子が育っている。児童の中には、「緑地域を愛する心」は育っているのではないか。してもらおうが当たり前ではなく、感謝の気持ちもしっかり持ってほしい。たかさんの地域の方が、学校の行事にも地域の行事にも積極的に参加している。保護者も協力的である。</p> <p>学習発表会で、緑小学校の歴史についてインタビューカードをもとに発信したり、昔の写真を掲示したりしたことで、いつもは学校に目に向いていない人からも反響と御礼があった。これからも、地域のたかさんの人が学校に目を向けるような働きかけや取組をしていくと良いと思う。</p> <p>⑰ホームページは毎日更新されている。保護者は、見る環境が整っていると思うので、ぜひ積極的に見てほしい。</p>	<p>学校 の 対 応</p> <p>⑮地域の方々や保護者の御協力のおかげで、児童は緑地域のよさを感じながら楽しく学習することができている。また、登校時の見守りや読み聞かせでもお世話になっている。しかし、活動期間が長いため、してもらおうが当たり前になっているような言動も見られる。学校では、再度、活動の意義を明確にして児童に伝え、感謝の気持ちを持てるようにしたい。</p> <p>⑰今後もホームページや学校だより等で学校の様子を保護者・地域に発信し、たかさんの人が学校に目を向けられるようにしたい。</p>
---------	---	---